

1 学校紹介による推薦

(1) 誓約書の提出

学校紹介による推薦を希望する場合は、「誓約書」(生徒・保護者の署名・押印)を提出します。(資料1)

(2) 応募の手順

- ① 7月1日以降、公共職業安定所(ハローワーク)の確認印が押された「新規高卒者用求人票」を受付けて公開します。
- ② 希望する企業名を記入した「就職応募申込書」を提出します(第3希望まで記入可)申込書には、生徒・保護者の署名・押印が必要です。(資料2)
- ③ 応募者多数の場合は、校内調整を行い、推薦者を決定します。
- ④ 推薦が決定した生徒は、直ちに「履歴書」を作成し提出します。(資料3)
- ⑤ 進路指導部は、提出された「履歴書」・「調査書」に「紹介書」を添え企業に送付します。
- ⑥ 9月16日(入社試験解禁日)から選考試験が開始されます。
- ⑦ 帰校後、3日以内に担任へ報告書を提出してください。提出しない場合は欠席扱いとなります。(資料4)
- ⑧ 選考結果が内定(合格)となった生徒は、直ちに「就職承諾書」を作成し提出します。(資料5)

(3) 推薦における原則

- ① 生徒の希望を第一義に行いますが、必ず保護者の同意が必要です。
- ② 公平・公正・機会均等になるよう配慮します。
- ③ 卒業見込みの生徒を推薦します。

推薦直前までの成績が全教科・科目40点以上、また行動が本校生としてふさわしい生徒を推薦します。なお、40点未満の教科・科目を有する場合は、推薦資格認定試験(終業式に予定)を受験し、かつ合格認定された生徒のみを推薦します。

※推薦資格認定試験の不受験者あるいは不合格者は推薦されません。ただし、二学期中間考査以降に合格と認定された場合には推薦することができます。

- ④ 重複推薦はしません。※1社専願制(就職協定により)

11月以降の推薦は併願できますが、詳しいことは進路指導部へ相談してください。

(4) 辞退者の取扱い

推薦決定後あるいは内定後の辞退は原則として認めません。

辞退の場合、次のような処置を行います。

- ① 「就職承諾書」(資料5)提出以前の場合は、学校から企業へ辞退文書(本人・保護者連名の理由書を添付)を送付します。
- ② 「就職承諾書」提出以後の場合は、保護者が企業へ出向き陳謝することとなります。
- ③ いかなる場合においても、選考試験のために企業から支給された費用はすべて返納してもらいます。
- ④ 正当な理由なく辞退した場合は、以後の推薦は行いません。
- ⑤ 入社試験前あるいは入社試験後の合否通知前の辞退であっても、上記④に準じた取り扱いとなります。

2 公務員応募

- (1) 公務員（国家公務員・地方公務員・警察・消防・自衛隊・その他）を受験する者は、学校紹介による企業への推薦を希望することができません。（併願できません。）
ただし、応募した全ての公務員試験に不合格の場合は、それ以降の企業推薦を受けることができます。
- (2) 願書は各自で取り寄せることが基本ですが、学校に送られてきた願書は希望者に配布しています。受付開始が6月の公務員試験もありますので、注意して下さい。
- (3) 公務員の合格発表は年度末になる場合もあり、企業の採用試験はすでに終わる時期になりますので、充分念頭に置いて受験して下さい。
- (4) 自分の力を把握するために、必ず校外公務員模試を受験して下さい。
- (5) 公務員に応募する際は、ただちに学級担任に届けてから行って下さい。

3 縁故・自己開拓による就職

- (1) 求人票を学校受付している企業の縁故求職は認めていません。
ただし、その企業の選考結果通知以降に、新たに個人指名を受けた場合は学級担任に相談して下さい。
- (2) 個人で求職（自己開拓）をする場合においても、内定後必ず学級担任に届けてください。
・「自己開拓等就職内定届」の提出（資料6）

4 就職及び進学内定者の実習・研修等

- (1) 卒業式以前の内定先での実習・研修・アルバイトは、学校教育に支障をきたし災害発生等の恐れもありますので、一切参加を認めていません。
- (2) 企業見学・懇談会等の参加は、放課後あるいは休日・休業期間中などの学校行事に支障のない場合に限っています。
- (3) 運動部生徒の大学進学に伴う当該大学各部の合宿参加についても、前項(2)に準じます。

5 選考(入社)試験

- (1) 選考では、筆記試験とともに面接が非常に重視されています。

筆記試験 + 面接試験

- 学科（一般常識、国、数、社、理、英、専門）
- 作文
- 適性（クレペリン、SPI等）

- (2) 面接では、仕事をしていく上での基本となる適性・意欲・積極性・協調性・適応性・責任感・社会性ととともに人間性(人柄)を重視して観察されます。「志願理由」・「入社への意欲と熱意」を明確に表現するとともに、自分の高校生活を紹介するなかで自分自身をうまくアピールしなければ、良い評価は得られません。
面接マナーの練習は直前にできますが、アピールする人間性(人柄)は3年間の充実した学校生活で培われます。

《補足》校内調整会に用いる事項

- ・ 評定平均値
- ・ 総合クラス席次
- ・ 欠席日数
- ・ 諸活動の状況（部活動、生徒会活動、資格取得等）
- ・ 就職模試
- ・ その他